

## テーマ 「ダウン症の青年期・成人期・高齢期を考える」 支援者向けセミナー

青年期をむかえるダウン症のある人の思いを受け止めどのように支援していけば良いのか。高齢になられたダウン症の方の支援はどのように考えればよいかを健康管理も含め  
青年期・成人期ダウン症の支援プログラムに取り組んでいらっしゃる講師の方々とともにダウン症のある人への支援のあり方を考え、現場での取り組みの糸口となるセミナーの開催となります。

### ●参加方法：A. 会場での直接聴講(90名)／B. オンライン録画配信による聴講

<A>・日時：8月7日(日)12:30～16:30・場所：東京日本橋タワー31階 太陽生命会議室  
東京都中央区日本橋2-7-1、地下鉄銀座線・東西線・浅草線 「日本橋駅」直結

<B>・日時：未定(8月7日の講義を後日、配信でご視聴いただきます)

### ●参加費：4000円(A/B共通) ※A/Bとも、オンライン配信による事前聴講あり

### ●申し込み締切：7月25日(月) ※Aは定員になり次第締切

#### 【プログラム】

#### 第1部(A/B 共通)

①ダウン症に関する基礎知識について、オンラインで事前視聴していただきます。

「ダウン症支援基礎編1」

「ダウン症支援基礎編2」

講師：菅野敦先生(東京学芸大学名誉教授)

(7月29日～8月31日限定配信を予定)

#### 第2部

A: 会場に直接ご来場ください。

B: 後日視聴方法をお知らせします。

12:30～13:30

「ダウン症の健康管理」

講師：玉井浩

(ダウン症協会代表理事／大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所・LDセンター顧問)

13:40～15:00

「ダウン症の方の高齢化を考える。」

『知的障害と認知症』家族のためのガイドから」

講師：木下大生先生(武蔵野大学人間科学部教授)

15:10～16:30

「青年期から成人期・高齢期つながる支援」

講師：菅野 敦先生(東京学芸大学名誉教授)

#### 【申込方法】

参加対象：障害児者施設職員・相談支援  
専門員・保健師・学校教員・医者などの  
専門職の方々

①下記の受付登録フォームに  
ご記入・ご送信ください。

[https://forms.gle/  
rb5PLQQQRzLeBoP56](https://forms.gle/rb5PLQQQRzLeBoP56)



②内容確認の上、JDS 事務局より

「受付番号」「振込先口座」をメールでお伝えいたします。

③お振込みをもって正式受付完了となります。

※これ以降のキャンセル(払い戻し)は受け付けませんのでご了承ください。

④正式受付完了後、資料ダウンロード URL および  
セミナー配信 URL をメールでお知らせいたします。

※今年度は資料の紙面配布はいたしません。

⑤決められた期間内にご視聴ください。

## 講師紹介

玉井 浩(たまいひろし)

日本ダウン症協会代表理事／

大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所・LDセンター顧問

大阪医科大学（現、大阪医科薬科大学）卒業後、小児科専門医・小児神経専門医を取得。同大学小児科教授を経て、現在は小児高次脳機能研究所・LDセンター顧問として後進の指導にあっている。患者さんの病気ではなく、まずその人を知ること、そしてより社会に知ってもらうことを目指し幅広い活動を続けている。

特にダウン症・ウィルソン病を専門領域とし、臨床・研究のみならず、ウィルソン病友の会の顧問医師や日本ダウン症協会代表理事、日本ダウン症療育研究会会長として、ウィルソン病患者やダウン症児、またその家族のサポートに力を入れている。

木下 大生(きのした だいせい)

武蔵野大学人間科学部教授

知的障害者通所授産施設指導員、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部研究科係長、聖学院大学人間福祉学部准教授を経て現職。

知的障害で認知症症状がある人の支援、知的障害で罪を犯した人の支援、ソーシャルワーク（主としてマクロ領域）を研究のテーマとしている。

出版等

単著：『認知症の知的障害者への支援：「獲得」から「生活の質の維持・向上」へ』2020年、ミネルヴァ書房

訳書：『知的障害と認知症：家族のためのガイド』2021年、現代人文 ほか多数

菅野 敦(かんの あつし)

東京学芸大学名誉教授

北海道出身。大学卒業後、知的障害特別支援学校に勤務。その後、知的発達障害児・者の学習や発達に関することを学び、研究するために、大学院に入学。博士課程修了後、東京学芸大学に勤務。一貫して、知的発達障害、なかでもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性及び各ライフステージにおける発達課題の解明を行う。そこから得られた知見をもとに、「生涯発達支援」の視点から指導・支援のための方法や教育課程・支援計画に関する研究を目指す。

### 【注意事項】

●受付登録フォームにご記入されるメールアドレスで、boshu@jdss.or.jpからのメールが受信できるようにしてください。携帯ドメインやフリーアドレスでは受信できない場合がございますのでご注意ください。  
資料ダウンロード・視聴について:当法人および著作権者からの許可無く、資料の一部および全てを複製、転載、または配布、印刷など、第三者の利用に供することは禁止いたします。また、録音、撮影等は固くお断りいたします。